





植物は養分・水分の吸収と栄養源である太陽へ近づけるため、生存範囲に根を落とす時に他種を駆逐するためにその範囲を広げるが、生存範囲を超えるまでの破壊を繰り返さない。その形態は構造と環境的な接続を担う重要な部分であり、どの植物も基本構造は同様であるしかしその自由度は圧倒的に高く、現存する幾種かの植物は根を切り離し、別の媒体に寄生して生きるものもある。各々が限定された環境の中で自由に豊かになりすぎたとき変化が望まれるのは定着の価値を認めるとき、あるいはその概念から離脱しようとした時ではないだろうか。様々な順応をしながら地盤に侵入して一体化し、自然界の低下の流れを汲み、土地との共生性を持っているのである。収斂進化した建築は基礎から土地との断面的形勢について考えている。



### カンアオイの風呂

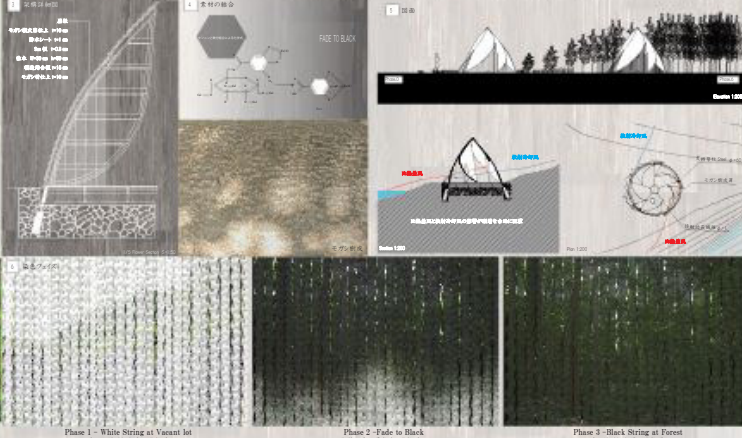
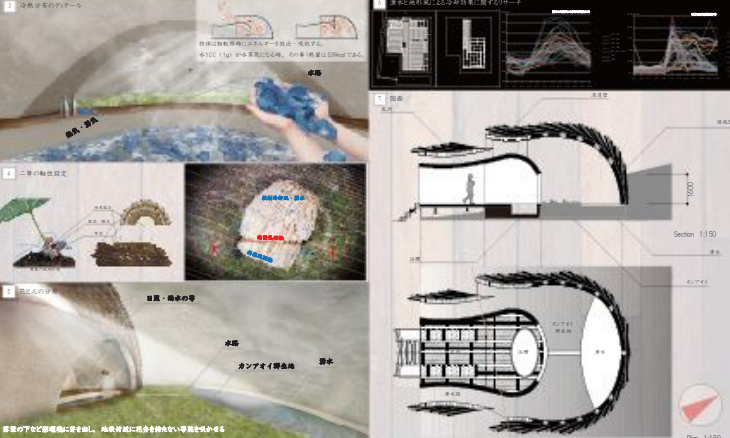
- 湧水、雨水、風洞形態の冷却装置 -

### モウソウチクの塚

- 遷移する境界 -

### モガンの隠れ場

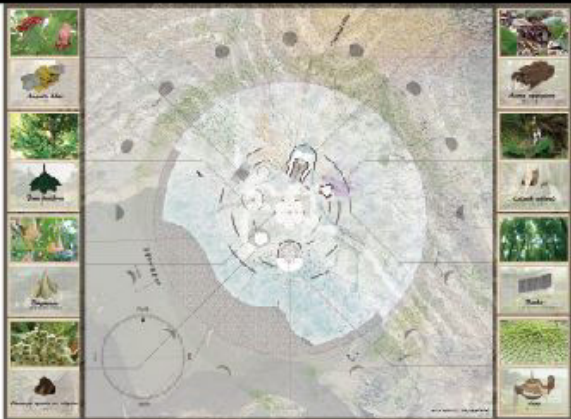
- 可視化する風等と風 -



採石場跡地に計画する新しい住宅地において、一世帯の住居空間を設計した。  
 右記のハ・ー種、計九種類の植物に倣い収斂進化した建築構造物である。  
 各空間は対象とした植物の生態環境と花序の概念からエネルギー/素材/生活動作の配列を構成している。  
 遷移時の境界は葉序の概念からパーソナルの居住エリアを固い取るように構成している。  
 この敷地では地盤保水力がない状態から設計を始める。  
 水位は計画当初の現段階からさらに約8mの上昇をするため湖の面積は拡大される。  
 そのため右図のように、一部は水没することを前提に設計する。  
 敷地形状のリサーチから上昇下降気流が日照によって発生する点、  
 また周辺状況と土質からも湧水が豊かな状態を期待できる点などを考慮し、  
 植生の遷移に合わせて、**森の機能が建築の欠いた性能を担保するように設計した。**

## About Architecture Project

1. マツカサの台所
2. キダチチョウセンアサガオの居間
3. オニバスの部屋
4. カンオオの風呂
5. オウエビネの衣装部屋
6. モウソウナクの地蔵
7. モガシの遊れ場
8. コガシの燃料庫
9. 変換のエントランス



植生分布・配置図



Fig. 0-1 遷移前広域地形図

Fig. 0-2 遷移後広域地形図

広域俯瞰状況図

マツカサは建築の形状化序である  
 マツカサの概念は2年を要するまでの環境に順応し展開する建築構造物が存在した  
 マツカサを置いて馴染みのあるものは、  
 植物の最少で対応し見かけは「Forma」の扱い見目のものが  
 マツカサの環境は植物の生態環境と花序の概念からエネルギー/素材/生活動作を構成し、  
 展開システムを固い取るように構成している。

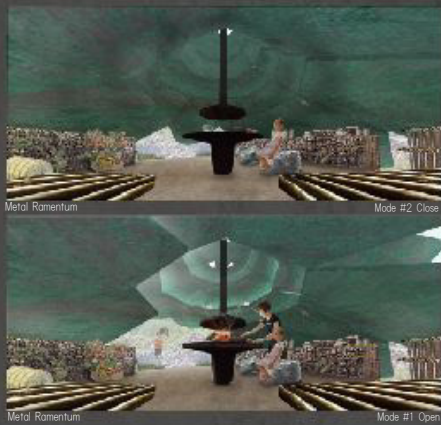
・敷地には掘削して花輪や橋を造り、自身の機能を果たす。  
 ・多量には掘削して風通しを良くすることで暖かさを確保/電子のガス風通し  
 というものである。

植物の成長に合わせて、それらを変換するMetal Ramentumの台所と、  
 庭で植物を育てるWood Ramentumの衣装部屋を考えた。

日屋と内庭を繋ぎ、それを繋ぎするMetal Ramentumの台所と、  
 庭で植物を育てるWood Ramentumの衣装部屋を考えた。

### マツカサの台所

- 呼吸する空間 -



Metal Ramentum

Mode #2 Close

Metal Ramentum

Mode #1 Open



花の展開時、植物を育てる

花の展開時、庭で植物を育てる

### キダチチョウセンアサガオの居間

- 丈越と地形への渡渉 -

池の役割は子供と大人が「遊・遊」を促すことにある。  
 動物の「遊ぶ」を促すことにある。  
 庭園の花の展開時は、植物の生態環境と花序の概念からエネルギー/素材/生活動作を構成し、  
 展開システムを固い取るように構成している。  
 2階への高さから植物の生態環境と花序の概念からエネルギー/素材/生活動作を構成し、  
 展開システムを固い取るように構成している。  
 これに倣い、植物の生態環境と花序の概念からエネルギー/素材/生活動作を構成し、  
 展開システムを固い取るように構成している。

植物によって生態環境のエネルギーを最大限取り出すことは使命である。  
 エネルギーの概念からエネルギー/素材/生活動作を構成し、  
 展開システムを固い取るように構成している。  
 水は植物が持つことでエネルギー/素材/生活動作を構成し、  
 展開システムを固い取るように構成している。  
 外気環境とエネルギー/素材/生活動作を構成し、  
 展開システムを固い取るように構成している。  
 庭園の花の展開時は、植物の生態環境と花序の概念からエネルギー/素材/生活動作を構成し、  
 展開システムを固い取るように構成している。  
 マツカサは建築の形状化序である。植物の最少で対応し見かけは「Forma」の扱い見目のものがマツカサの環境は植物の生態環境と花序の概念からエネルギー/素材/生活動作を構成し、展開システムを固い取るように構成している。

この植物は水没するまで、地上に立って水の上を歩くように設計する。  
 ここでは植物の生態環境と花序の概念からエネルギー/素材/生活動作を構成し、  
 展開システムを固い取るように構成している。  
 水は植物が持つことでエネルギー/素材/生活動作を構成し、  
 展開システムを固い取るように構成している。  
 外気環境とエネルギー/素材/生活動作を構成し、  
 展開システムを固い取るように構成している。

・立派なエネルギー/素材/生活動作を構成し、  
 展開システムを固い取るように構成している。  
 ・水の上を歩くように設計する。  
 ・水の上を歩くように設計する。

水は植物の生態環境と花序の概念からエネルギー/素材/生活動作を構成し、  
 展開システムを固い取るように構成している。

### オニバスの部屋

- 素材の融合 -



Onibashi

Onibashi

